

6. まちなかサロン恋問（こいとい）

（根室市・根室市中心市街地活性化推進協議会）

～市民が自由に利用できる「憩いの場所」、「土曜日」の開催～

■ 空き店舗活用方法の探求

根室市の中心市街地は、地元食品スーパーの閉店や高齢化に伴う商店の廃業などにより、空き地・空き店舗が目立つようになり、魅力ある商店街の再構築が急務であるとの共通認識があった。

このため、根室商工会議所が中心となって「根室市中心市街地活性化推進協議会」を発足し検討を進め、その一つの方法として空き店舗の活用を探るために、平成16年に「まちなかサロン恋問」を開設。その店舗跡が調理可能だったこともあり、料理発表会をはじめ、フリーマーケットなど、市民活動の場として1年間活動した。



■ 市民の「憩い場所」へ

平成17年からは現在の場所（空き店舗）へ移転し、前の店舗より広いスペースを確保できたため、市民が自由に利用できる「憩いの場所」としての機能はもとより、その広いスペースを安価な料金で各種イベントなどに活用できるようにした。

パソコンやWi-Fiフリースポットの設置などにより、市内の外国人実習生や観光客、学生の利用をはじめ、大型遊具の設置などにより小学生の遊び場として機能するなど、その活用の幅が広がっている。また、サロンを活用した「土曜日」

をはじめとするイベントの実施のほか、中心市街地で開催される祭りの際に、参加者の待機場として利用するなど、イベントを支える機能も発揮している。

運営に関しては、市からの補助金と利用料収入によって賄っているが、利用料収入を安価に設定していることもあり、そのほとんどを補助金に頼らざるをえない状況である。

■ 今後の課題

サロンの運営に当たっては、市民より様々な意見が寄せられており、引き続き活動したいと考えている。しかし、前述のとおり、その運営費用のほとんどが市からの補助金であり、将来に向け運営を継続していくためには、利用料金以外の新たな収入の確保も必要である。その一つとして飲食の提供が挙げられるものの、調理用の設備がない。また、ミニシアター機器類を活用したイベントの開催についても検討はしているものの、近隣への騒音への懸念から実現に至っていない状況。一方、飲食の提供やイベントに対応できる条件を満たす物件が無い場合、移転も難しい状況にある。

なお、協議会では、現在、空き店舗のみならず、中心街にある空き地を活用した活性化策についても検討を始めている。



土曜市の様子

照会先
（運営主体等）

■根室市中心市街地活性化推進協議会（根室商工会議所内）
根室市松ヶ枝町2丁目7番地（0153-24-2062）
HP（<http://www.necci.or.jp/>）